

2019年7月12日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

## 東京都の「ゼロエミッション東京」の取組みに賛同 －CO2削減クレジット2万トンを寄付－

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、2050年にCO2排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京（※1）」を目指す東京都の取組みに賛同し、6月11日に、東京都キャップ&トレード制度（※2）に基づくCO2削減クレジット2万トンを東京都に寄付しましたのでお知らせします。

（※1）東京都の取組みに関する内容につきましては、東京都環境局のホームページをご参照ください。

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large\\_scale/mukouka/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large_scale/mukouka/index.html)

（※2）都内大規模事業所に対し、CO2排出の総量削減を義務付けると共に、他の事業所との排出量取引を可能とした制度です。

### 1. CO2削減クレジットの寄付

損保ジャパン日本興亜は、東京都キャップ&トレード制度の対象事業者として、照明のLED化や高効率空調機器の導入、ペーパーレスの事務手続きへの移行等を進め、CO2排出量削減に継続的に取り組んでいます。このたび、「ゼロエミッション東京」の取組みに賛同し、これらの取組みにより削減できたクレジットのうち2万トンを東京都に寄付しました。

### 2. 損保ジャパン日本興亜およびSOMPOホールディングスグループの取組み

損保ジャパン日本興亜およびSOMPOホールディングスグループは、SBTi（脱炭素社会の実現を目指す国際イニシアチブ）に賛同し、中長期CO2排出量削減目標を設定しています。自社での排出削減に取り組むだけでなく、気候変動に対応する商品・サービスの提供、国内外のイニシアチブへの積極的な参画等を通じ、ESG投資の普及やSDGsの達成に資する活動を実施しています。

東南アジアでの「天候インデックス保険」や国内自治体向け「防災・減災費用保険」、環境対策等に積極的な企業の株式に投資するエコ・ファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）」の提供等、保険商品や金融事業を通じた気候変動への適応と緩和の取組みは、2019年2月に東京都が実施した「東京金融賞」（ESG投資部門）を受賞しました。

### 3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後もステークホルダーの皆さまとともに、CO2排出量削減をはじめとする持続可能な社会の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。

以上